



## 2023年5月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年7月14日

上場会社名 株式会社 岡山製紙 上場取引所 東  
 コード番号 3892 URL <https://okayamaseishi.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 津川 孝太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 加藤 理夫 TEL 086-262-1101  
 定時株主総会開催予定日 2023年8月25日 配当支払開始予定日 2023年8月28日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年8月28日  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年5月期の業績 (2022年6月1日～2023年5月31日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期	10,870	7.8	613	△10.7	693	△8.2	494	△16.3
2022年5月期	10,084	7.3	687	△16.6	755	△15.2	591	△4.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年5月期	101.38	—	4.7	4.6	5.6
2022年5月期	118.51	—	5.9	5.3	6.8

(参考) 持分法投資損益 2023年5月期 ー百万円 2022年5月期 ー百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年5月期	14,990	10,534	70.3	2,280.99
2022年5月期	14,876	10,454	70.3	2,093.90

(参考) 自己資本 2023年5月期 10,534百万円 2022年5月期 10,454百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年5月期	551	△197	△420	4,964
2022年5月期	878	△119	△96	5,029

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2022年5月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年5月期	—	8.00	—	8.00	16.00	79	13.5	0.8
2023年5月期	—	8.00	—	9.00	17.00	81	16.8	0.8
2024年5月期 (予想)	—	9.00	—	9.00	18.00		15.7	

### 3. 2024年5月期の業績予想 (2023年6月1日～2024年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	5,600	3.2	440	53.6	480	46.6	336	49.0	68.83
通期	11,000	1.2	720	17.3	800	15.4	560	13.1	114.71

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2023年5月期	5,500,000株	2022年5月期	5,500,000株
2023年5月期	881,617株	2022年5月期	507,017株
2023年5月期	4,881,875株	2022年5月期	4,988,156株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）2ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当事業年度の経営成績の概況 .....	2
(2) 当事業年度の財政状態の概況 .....	2
(3) 当事業年度のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	8
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(持分法損益等) .....	11
(セグメント情報) .....	11
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当事業年度の経営成績の概況

当事業年度における板紙業界におきましては、新型コロナウイルス感染症対策のための社会経済活動の制限が緩和され、国内の産業活動全般が正常化に向かうなかで年度の前半は段ボール原紙を中心とした板紙の需要に持ち直しの動きがみられましたが、後半は物価の高騰等による景気の減速により需要は減少し、先行きは不透明となっています。

こうした経営環境のなか、当社の主要製品である段ボール原紙他板紙の国内販売量は前年から減少しました。また、主な燃料であるLNG他原燃料の価格高騰による損益の悪化に対応するため、板紙製品の価格改定を実施し、その浸透に努めました。

この結果、当事業年度の売上高は10,870百万円（前期比7.8%増）、営業利益は613百万円（前期比10.7%減）、経常利益は693百万円（前期比8.2%減）、当期純利益は494百万円（前期比16.3%減）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### ○板紙事業

当事業関連では、板紙需要の減少を受け販売数量が前期比4.5%減となりましたが、製品価格改定の効果により、売上高は9,578百万円（前期比8.8%増）と増収となりました。しかしながら損益については原燃料の価格高騰分をカバーするには至らず、セグメント利益は661百万円（前期比5.5%減）となりました。

#### ○美粧段ボール事業

当事業関連では、主力の青果物向け製品が比較的堅調で、インクジェットプリンター品の販売も拡大しているものの、通信機器関連品の減速等もあり、売上高は1,291百万円（前期比1.1%増）と微増に留まりました。損益については段ボール原紙他原燃料、諸資材の価格上昇に製品価格の改定が追い付かず、セグメント損失は47百万円（前期はセグメント損失12百万円）となりました。

### （2）当事業年度の財政状態の概況

総資産は、14,990百万円で前期末の14,876百万円に比べ、113百万円増加いたしました。内訳としては流動資産が261百万円の増加、固定資産が147百万円の減少であります。

流動資産増加の主な要因は、電子記録債権407百万円の増加、売掛金149百万円の減少であります。また、固定資産減少の主な要因は、減価償却による有形固定資産104百万円の減少であります。

負債は、4,456百万円で前期末の4,421百万円に比べ、34百万円増加いたしました。内訳としては流動負債が73百万円の増加、固定負債が39百万円の減少であります。

流動負債増加の主な要因は、電子記録債務869百万円の増加及び、未払金159百万円の増加、未払費用202百万円の増加と、支払手形1,121百万円の減少であります。また、固定負債減少の主な要因は、繰延税金負債81百万円の減少であります。

純資産は、10,534百万円で前期末の10,454百万円に比べ、79百万円増加いたしました。主な要因は利益剰余金414百万円の増加、自己株式317百万円の増加であります。

### （3）当事業年度のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べて65百万円減少し、4,964百万円（前期比1.3%減）となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、551百万円の収入（前事業年度は878百万円の収入）となりました。主な要因は、税引前当期純利益713百万円、減価償却費299百万円の増加要因と、売上債権の増加220百万円、法人税等の支払額360百万円の減少要因などによるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、197百万円の支出（前事業年度は119百万円の支出）となりました。主な要因は、利息及び配当金の受取額71百万円の増加要因と、有形固定資産の取得による支出284百万円の減少要因によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、420百万円の支出（前期は96百万円の支出）となりました。主な要因は、自己株式の取得による支出322百万円、配当金の支払額79百万円によるものであります。

### （4）今後の見通し

翌事業年度の見通しにつきましては、主に包装用資材を製造・販売する当社の営業活動は国内外の景気動向に大きく影響を受けるところ、新型コロナウイルス感染症対策のための社会経済活動の制限がなくなったことにより、景気の持ち直しが期待される一方、消費者物価の大幅な上昇が続いていること等から、本格的な経済回復には道半ばの状況です。当社の板紙・美粧ケースの販売を左右する不安要素であり、厳しい経営環境が続くことが予測されます。また、少子化による働き手の減少から従業員の確保が年々困難になる中で、かかる厳しい経営環境に対処できる人材の育成が必要不可欠であります。

このような状況のもと、当社といたしましては生産面では従来にも増して需要に見合った生産体制の構築と更なるコスト低減、営業面では適正価格の維持と新規取引先の開拓、人事面では定着率の向上と教育研修の充実を図り、環境の変化に対応した経営に努めてまいります。

2024年5月期の業績は売上高11,000百万円、営業利益720百万円、経常利益800百万円、当期純利益560百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国際的な事業展開や資金調達を行っていませんので、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

（1）貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2022年5月31日)	当事業年度 (2023年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,029,474	4,964,110
受取手形	618,203	580,035
電子記録債権	1,050,736	1,458,620
売掛金	2,271,906	2,122,545
商品及び製品	377,216	410,193
仕掛品	27,293	18,084
原材料及び貯蔵品	329,830	414,319
前払費用	29,358	28,180
その他	2,730	2,191
貸倒引当金	△2,000	△2,000
流動資産合計	9,734,750	9,996,281
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,320,100	2,320,950
減価償却累計額	△1,666,102	△1,721,273
建物（純額）	653,997	599,676
構築物	479,679	479,679
減価償却累計額	△355,840	△365,016
構築物（純額）	123,838	114,662
機械及び装置	10,994,914	11,087,748
減価償却累計額	△9,703,734	△9,893,952
機械及び装置（純額）	1,291,180	1,193,796
車両運搬具	13,241	13,234
減価償却累計額	△11,904	△12,542
車両運搬具（純額）	1,336	691
工具、器具及び備品	147,059	148,457
減価償却累計額	△117,015	△123,886
工具、器具及び備品（純額）	30,043	24,570
土地	261,433	261,433
リース資産	65,906	93,823
減価償却累計額	△32,950	△28,736
リース資産（純額）	32,955	65,086
建設仮勘定	—	30,200
有形固定資産合計	2,394,785	2,290,116
無形固定資産		
ソフトウェア	5,089	2,573
電話加入権	1,269	1,269
商標権	63	34
無形固定資産合計	6,422	3,877
投資その他の資産		
投資有価証券	2,700,626	2,672,125
出資金	9,793	9,793
長期前払費用	28,077	16,251
その他	2,309	2,300
投資その他の資産合計	2,740,805	2,700,469
固定資産合計	5,142,013	4,994,464
資産合計	14,876,764	14,990,746

（単位：千円）

	前事業年度 (2022年5月31日)	当事業年度 (2023年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	1,396,350	274,889
電子記録債務	577,448	1,446,710
買掛金	378,365	382,845
リース債務	12,352	23,985
未払金	349,769	509,442
未払費用	520,775	723,693
未払法人税等	214,910	142,120
未払消費税等	95,575	56,205
預り金	6,823	7,189
その他	—	59,125
流動負債合計	3,552,370	3,626,206
固定負債		
リース債務	24,197	48,801
長期未払金	29,140	23,171
繰延税金負債	372,056	290,091
退職給付引当金	444,209	468,000
固定負債合計	869,604	830,063
負債合計	4,421,974	4,456,270
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	821,070	821,070
資本剰余金		
資本準備金	734,950	734,950
その他資本剰余金	29,420	34,901
資本剰余金合計	764,370	769,852
利益剰余金		
利益準備金	50,000	50,000
その他利益剰余金		
配当準備積立金	58,000	58,000
別途積立金	1,091,419	1,091,419
繰越利益剰余金	6,215,649	6,630,576
利益剰余金合計	7,415,068	7,829,995
自己株式	△191,265	△509,162
株主資本合計	8,809,244	8,911,755
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,645,544	1,622,720
評価・換算差額等合計	1,645,544	1,622,720
純資産合計	10,454,789	10,534,475
負債純資産合計	14,876,764	14,990,746

（2）損益計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2021年 6月 1日 至 2022年 5月 31日）	当事業年度 （自 2022年 6月 1日 至 2023年 5月 31日）
売上高	10,084,173	10,870,057
売上原価		
商品及び製品期首棚卸高	332,312	377,216
当期製品製造原価	7,772,543	8,494,607
当期商品仕入高	102,473	113,521
合計	8,207,329	8,985,345
他勘定振替高	53	144
商品及び製品期末棚卸高	377,216	410,193
売上原価合計	7,830,059	8,575,007
売上総利益	2,254,114	2,295,050
販売費及び一般管理費		
運搬費	796,432	852,159
保管費	4,495	4,953
役員報酬	96,480	96,510
株式報酬費用	11,453	10,622
従業員給料及び賞与	291,011	328,572
福利厚生費	65,318	65,716
退職給付費用	11,633	9,229
支払手数料	74,689	80,411
賃借料	16,789	17,432
減価償却費	27,759	29,833
その他	170,369	185,776
販売費及び一般管理費合計	1,566,432	1,681,219
営業利益	687,681	613,831
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	59,331	71,631
受取賃貸料	5,182	5,459
その他	3,507	2,525
営業外収益合計	68,021	79,615
営業外費用		
その他	577	389
営業外費用合計	577	389
経常利益	755,125	693,057
特別利益		
固定資産売却益	88,743	—
投資有価証券売却益	7,227	20,238
特別利益合計	95,970	20,238
税引前当期純利益	851,095	713,295
法人税、住民税及び事業税	311,228	290,342
法人税等調整額	△51,268	△71,967
法人税等合計	259,960	218,375
当期純利益	591,135	494,920

製造原価明細書

区分	注記番号	前事業年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)		当事業年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)		
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
I 材料費	※		4,536,574	58.3	4,557,304	53.7
II 労務費			813,593	10.5	848,780	10.0
III 経費			2,426,070	31.2	3,079,314	36.3
当期総製造費用			7,776,238	100.0	8,485,399	100.0
期首仕掛品棚卸高			23,598		27,293	
合計			7,799,836		8,512,692	
期末仕掛品棚卸高			27,293		18,084	
当期製品製造原価		7,772,543		8,494,607		

原価計算の方法

原価計算の方法は、板紙関連品については組別総合原価計算、美粧段ボール関連品については個別原価計算を採用しております。

(注)※主な内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当事業年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
電力料(千円)	414,348	658,911
燃料費(千円)	706,508	1,146,076
減価償却費(千円)	308,735	269,677
外注加工費(千円)	57,472	35,901

（3）株主資本等変動計算書

前事業年度（自 2021年6月1日 至 2022年5月31日）

（単位：千円）

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計
					配当準備積立金	別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	821,070	734,950	22,707	757,657	50,000	58,000	1,091,419	5,704,301	6,903,720
当期変動額									
剰余金の配当								△79,787	△79,787
当期純利益								591,135	591,135
自己株式の取得									
自己株式の処分			6,713	6,713					
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）									
当期変動額合計	—	—	6,713	6,713	—	—	—	511,348	511,348
当期末残高	821,070	734,950	29,420	764,370	50,000	58,000	1,091,419	6,215,649	7,415,068

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△195,999	8,286,449	1,440,734	1,440,734	9,727,183
当期変動額					
剰余金の配当		△79,787			△79,787
当期純利益		591,135			591,135
自己株式の取得	△18	△18			△18
自己株式の処分	4,752	11,466			11,466
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）			204,810	204,810	204,810
当期変動額合計	4,734	522,795	204,810	204,810	727,605
当期末残高	△191,265	8,809,244	1,645,544	1,645,544	10,454,789

当事業年度（自 2022年6月1日 至 2023年5月31日）

（単位：千円）

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計
					配当準備積立金	別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	821,070	734,950	29,420	764,370	50,000	58,000	1,091,419	6,215,649	7,415,068
当期変動額									
剰余金の配当								△79,993	△79,993
当期純利益								494,920	494,920
自己株式の取得			△548	△548					
自己株式の処分			6,029	6,029					
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）									
当期変動額合計	—	—	5,481	5,481	—	—	—	414,926	414,926
当期末残高	821,070	734,950	34,901	769,852	50,000	58,000	1,091,419	6,630,576	7,829,995

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△191,265	8,809,244	1,645,544	1,645,544	10,454,789
当期変動額					
剰余金の配当		△79,993			△79,993
当期純利益		494,920			494,920
自己株式の取得	△322,877	△323,425			△323,425
自己株式の処分	4,979	11,008			11,008
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）			△22,824	△22,824	△22,824
当期変動額合計	△317,897	102,510	△22,824	△22,824	79,686
当期末残高	△509,162	8,911,755	1,622,720	1,622,720	10,534,475

（4）キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2021年 6月 1日 至 2022年 5月 31日）	当事業年度 （自 2022年 6月 1日 至 2023年 5月 31日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	851,095	713,295
減価償却費	336,495	299,511
有形固定資産売却損益（△は益）	△88,743	—
投資有価証券売却損益（△は益）	△7,227	△20,238
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△11,451	23,790
受取利息及び受取配当金	△59,331	△71,631
売上債権の増減額（△は増加）	△458,111	△220,354
棚卸資産の増減額（△は増加）	△4,910	△108,258
仕入債務の増減額（△は減少）	157,800	△14,093
その他	318,111	310,572
小計	1,033,728	912,594
法人税等の支払額	△155,254	△360,607
営業活動によるキャッシュ・フロー	878,474	551,987
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△275,536	△284,675
有形固定資産の売却による収入	95,000	—
無形固定資産の取得による支出	△500	—
投資有価証券の取得による支出	△9,223	△10,812
投資有価証券の売却による収入	11,182	26,730
利息及び配当金の受取額	59,331	71,631
投資活動によるキャッシュ・フロー	△119,745	△197,125
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△79,780	△79,951
リース債務の返済による支出	△16,854	△17,577
自己株式の取得による支出	△18	△322,695
財務活動によるキャッシュ・フロー	△96,654	△420,225
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	662,074	△65,363
現金及び現金同等物の期首残高	4,367,399	5,029,474
現金及び現金同等物の期末残高	5,029,474	4,964,110

（5）財務諸表に関する注記事項  
 （継続企業の前提に関する注記）  
 該当事項はありません。

（持分法損益等）  
 該当事項はありません。

（セグメント情報）

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものとあります。

当社は、主に中芯原紙・紙管原紙を主体とした板紙と美粧段ボールの製造、販売を主たる事業としており、それぞれ取り扱う製品について包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しているため、報告セグメントを「板紙事業」及び「美粧段ボール事業」の2つとしております。

「板紙事業」は、段ボール製造用原紙の一品種である中芯原紙及び紙、布、セロファン、テープ、糸などの巻しんに使用される紙管原紙の製造販売を、「美粧段ボール事業」は、青果物、食品、家電製品等の包装箱や贈答箱の製造販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理は、財務諸表を作成するために採用される会計処理方法に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益に基づいた数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前事業年度（自 2021年6月1日 至 2022年5月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			合計	調整額	財務諸表計上額(注)
	板紙事業	美粧段ボール事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	8,806,452	1,277,721	10,084,173	10,084,173	—	10,084,173
セグメント間の内部売上高又は振替高	139,782	33,391	173,173	173,173	△173,173	—
計	8,946,234	1,311,112	10,257,346	10,257,346	△173,173	10,084,173
セグメント利益又は損失(△)	699,848	△12,166	687,681	687,681	—	687,681

(注)セグメント利益又は損失は損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当事業年度（自 2022年6月1日 至 2023年5月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			合計	調整額	財務諸表計上額(注)
	板紙事業	美粧段ボール事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	9,578,652	1,291,404	10,870,057	10,870,057	—	10,870,057
セグメント間の内部売上高又は振替高	177,991	30,234	208,225	208,225	△208,225	—
計	9,756,643	1,321,639	11,078,282	11,078,282	△208,225	10,870,057
セグメント利益又は損失(△)	661,153	△47,322	613,831	613,831	—	613,831

(注)セグメント利益又は損失は損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当事業年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
1株当たり純資産額	2,093.90円	2,280.99円
1株当たり当期純利益	118.51円	101.38円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当事業年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
当期純利益(千円)	591,135	494,920
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	591,135	494,920
普通株式の期中平均株式数(株)	4,988,156	4,881,875

(重要な後発事象)

該当事項はありません。